

<校訓>

高志共生

大庄中通信

大庄中学校
H25年度第6号
(H25.6.19・水)

修学旅行紀行

5月16日(木)～18日(土)、長崎・佐賀(唐津)方面の修学旅行に行ってきました。

統合の18年度には、2年生のときに西中と東中で別々に修学旅行を実施しましたので、大庄中学校としては7回目の修学旅行となります。そのうち、平成22年度に四国方面への修学旅行に行った以外は、すべて長野県でのスキー実習でしたので、今回は、大庄中学校としては2回目のスキー以外の修学旅行となりました。

無事に新幹線乗車

朝の出発は、6時15分集合完了という、大半の人はいつもなら夢の中の時間の集合完了時刻でした。2名の大遅刻があり、予定より13分遅れの学校出発になったのですが、朝の道はすいていて、8時25分発新神戸発の新幹線には余裕を持って乗車できました。



修学旅行専用列車でしたので、同じ列車に市内の2つの中学校や明石市、大阪市、守口市などの中学校も一緒に旅となりました(車両は学校ごとに別々です)。それにしても、40年以上前の私が中学生だった頃の修学旅行専用列車は、直角の固い座席で眠るのもままならないものでしたが、今はリクライニングの新幹線…隔世の感がありました。

新幹線が動き出すや否や、生徒達はトランプやUNOに興じて、車窓の風景を楽しむ様子はありませんでした…。

11時前の早めの弁当タイムを終え、12時すぎに博多駅から貸し切りバスで一路長崎へ向かいました。

1日目は長崎で原爆資料館見学と市内班行動

1日目の午後は、原爆資料館の見学と長崎市内の班行動でした。事前に学習してきたものの、実際に資料館に展示されている被爆後の写真や原爆の被害を受けて今も残っている作業服・頭蓋骨の付着した鉄かぶと・骨のくっついている高熱で溶けたガラス・戦後の核開発の現状などは、生徒達の心に強く刻まれたものと思います。資料館の見学後は、長崎駅前からグラバー園・大浦天主堂の下まで、徒歩や路面電車やバスを利用した班行動です。約2時間の行程でしたが、班ごとに計画した場所を回り、予定の時間までに全員が集合できました。

食べきれなかった長崎料理の夕食

長崎市内の中心部からバスでおよそ1時間のところにある「長崎見ハイツ」が1日目の宿舎でした。海の景色がとともきれいな宿舎です。夕食のメニューは、各テーブルに、鯛のお造りが～ドンと1尾、コーンスープ、長崎名物のカマボコ・豚まん・お餅・ミニグラタン・ハム・フライなどが7～8種…残念ながら、食べきれずに残しているテーブルがたくさんありました。もったいない。

抱腹絶倒のレク大会

夕食の後のレク大会は、まさに抱腹絶倒。レク大会というより、素人隠し芸大会と名付けた方が正解かもしれません。担任の先生も出演した各クラスの出し物も短い準備期間なのにアイデアがいっぱいでした。

また、レク係や飛び入りの人達による、幕間の出し物の多彩さと芸人ぶりには、大庄中は人材の宝庫と感心させられました。未来の吉本興業予備軍が何名いるのでしょうか?コールがあれば出るのをイヤと言わない実行委員のTくん、Aくんの先生達のものまねや顔まね、飛び入り大好きなMくん、爆笑漫才コンビのY&Tくん、マジシャンSさん…、機会があればもう一度見てみたいものです。

2日目は平和セレモニーと唐津でのファームステイ

2日目のメニューは、午前中に爆心地公園での平和セレモニー、マリンセンターでの昼食のあと唐津市に向かい、班ごとに分かれての農村体験・ファームステイでした。

各クラス12の班に分かれて、お世話になった各家庭でさまざまな体験をしました。どこの農家も兼業農家で、ちょうど休耕期だったようですが、アユの養殖、花の苗作り、レモン果樹園、弓道と生け花の体験、温泉…など(広範囲なので、私たちも車を使いながらも全部をまわることはできませんでした。)、最終日に集まってきた生徒達がそれぞれの体験を自慢げに話す表情が、お世話になったご家庭での体験の素晴らしさを物語っているなど感じました。



3日目 お土産を購入して尼崎へ

最終日は、唐津から博多に向かい、豚骨ラーメン・鯛釜飯・明太子少々の昼食の後、お土産購入がありました。長崎のカステラは通販であらかじめ申込みずみのためか、生徒達が殺到したのはアクセサリーとお菓子の売り場でした。マナーよく購入ができたのでしょうか。お店の方から「素晴らしい生徒さん達ですね」というお褒めのお言葉をいただき、誇らしい気持ちになりました。

「一人ひとりが協力して自分たちの力で行動できる修学旅行にしよう」達成

全体目標は、達成できたと評価します。隠してお小遣いを多めに持って行こうとしたり、食べてはいけない行程なお菓子を持って行こうとした生徒がいたので、100点満点で95点としておきますが、「修学旅行を成功させるぞ」という全員の気持ちがあふれていた素晴らしい修学旅行の3日間でした。

夢を実現させる3週間(教育実習5/27月～6/14金)

今年も、教員を目指す3名の卒業生が教育実習生として母校に帰って来ました。先輩達の教員になるという夢の実現に協力してくださいと朝礼で紹介したのですが、生徒達もよく応えてくれました。

坂井 翔馬(大庄中18年度卒) 数学 3年4組担当

濱石 龍(大庄中18年度卒) 数学 3年3組担当

真鍋 大樹(大庄西中17年度卒) 国語 3年2組担当

昨年度の教育実習生の大岩 晋(今年の4月から園田東中学校に勤務)くんのよう、採用試験に合格して、尼崎の先生になってくれる日を待っています。

(文責:校長 福井 隆夫)